

佐賀県は知的財産を

守り育てていく！ 育生み出す

ライセンス
編



株式会社アルデザイン
代表取締役
三原 宏樹さん



「少しでも心落ち着く場所を」 被災者への思いが生んだ家具

Danbaul×Style (強化段ボール家具)

〈きっかけ〉
ニュースが伝えた光景

建築物の企画・設計・デザインを行うアルデザイン
の三原さんは、本業以外に
もNPOの代表として環
境やまちづくりに携わって
います。「NPO活動のお
かげで、昔からある建物に
新しいミッションを与えて使
い続ける、という使命につ
いても日々考えています」と
語るように、建築家として
新しいものを生み出すだ
けでなく、使い続けること
を意識しながら活動して
います。

2011年、三原さんが
目にしたのは東日本大震
災の避難所の様子を伝え
るニュースでした。寒々とし
た体育館の床にシートや毛
布だけを敷いて座る光景
を目の当たりにし、「避難
所で生活する人々が少し
でも心落ち着く“場”を作
れないか」と思い立ちま
す。「試しにつくってみたの
は強化ダンボールの椅子で
した。日常でも使い続けら
れる強度があります」と



考案時のスケッチ。構造や組み立て方に建築の見解が活かされている

三原さん。考案した家具
は、使う人に安らぎを与え
られるような洗練されたデ
ザインでありながら、道具
を使わず簡単に組み立て
られるものになりました。

このアイデアは特許にな
るのでは？と頭によぎった
三原さんは、佐賀県知財総
合支援窓口があることを
知り、相談に向かいました。

〈進展〉
知財が生んだ出会い

「設計やデザインはでき
ても、特許のことは何も分
かりませんからね。相談に
行ってみたら、特許以外に
も色々な知的財産があっ
て、私たちの仕事に関係



3/19(火) SAGAプラザで開催される
SAGA INNOVATORS Talk Liveに
展示予定のブース

することが分かりました」
と三原さん。さまざま
支援を受けながら、20
15年に特許を出願し、
翌16年に登録。同時に
「Danbaul×Style
」の商標や意匠も出願
し、家具の国際見本市に出
展しました。

海外展開を見据えた業
務提携||ライセンス展開
が決まります。三原さんは
「Danbaul×Style
」の商標を海外の複
数の国でも活用できるよ
う、改めて窓口の支援を
受け商標の国際登録出
願を行いました。「段ボ
ールは日本語なので、日本発
の商品であると名前で伝
えることができます」と三
原さんは話します。

〈展望〉
非日常でも日常でも

何十種類もあるデザイン
は、案件に応じてカスタマイ
ズも可能。SDGsの理念
に沿った図書室内デザイン

の依頼を受けて、リサイク
ル可能な「Danbaul
×Style」のデスク
や椅子、書棚などをコー
ディネートしました。ま
た、児童施設建築の際に
は、軽くて怪我をさせに
くい家具として採用さ
れ、このスタイルに共感し
た企業との代理店契約が
実現しました。

「段ボールの家具でみん
ながハッピーになれるとい
いですね」と語る三原さん。
「Danbaul
×Style」
という知的財
産の可能性に
期待を寄せてい
ます。



INPIT 佐賀県知財総合支援窓口
知財トータルサポーターの皆さん

知財といえば、商品名などの「商標」がイメージしやすいと思
いますが、ご相談者のビジネス構想の中には特許や意匠
などが絡むことも多々あります。そのため、窓口では知財に
ついて色々な角度から知ってもらうよう努めています。

知的財産に関する悩みや疑問はこちらまで

相談無料 秘密厳守

INPIT佐賀県知財総合支援窓口

☎0952-30-8191 (平日) 8:30~17:15

✉chizai@mb.infosaga.or.jp

佐賀県内の
相談・支援事例を
ご覧いただけます。



「佐賀県知的財産を大切に、みんなで
守り、育て、新たに生み出す条例」に
ついてはコチラ。

佐賀県

佐賀県 知的財産 検索

